

考動・躍動・感動

担任の想い～一年生最後の道徳より～

A組 主題名

「自分の名前に込められた想い」

ねらい：

一人一人に付けられた自分の名前には、たくさんの人のたくさんの想いがつまっています。自分の名前にはどんな想いがつまっているのかを知ること、自分がどれだけ大切に思われているのかを知ることができます。また友達の名前にはどんな想いがつまっているのかを知ることによって友達もかけがえのない大切な存在なんだと気づくことができます。そこから、自分や友達を大切にする気持ちを育てて欲しいと願い、授業を行いました。



(生徒の感想)

自分の名前に込められた思いが分かりました。そしてみんなの名前の意味もよく分かりました。僕も大人になったら、子どもの名前をしっかり考えようと思いました。

(荒木優佑さん)

この機会に自分の名前の意味や他の人の名前の意味を知ることができて、よかったと思っし、自分の名前の意味が分かったおかげで自分の名前に誇りをもつようになった。

(松瀬弘幸さん)

E組 主題名「奇跡のシュート」

ねらい：

日川高校のある生徒の苦難についての話。努力することの大切さと努力することで周りの人たちから応援したいと思われることを知ってほしいと思いました。そして、自分の中で努力することを何か見つけ、2年生では様々なことを伸ばしてほしいと思い、この授業をしました。

(生徒の感想)

あきらめないことで努力を実らせることができるのだと思います。私もあきらめないでがんばろうと思います。

(春日井優さん)

あのビデオを見て自分が諦めなければみんなが信じてくれるのだと思いました。

(神田朋也さん)

C組 主題名「自転車放置禁止」

ねらい：

「きまり」が自分たちの安全で平等な生活を保障するために存在していることを理解し、法やきまりを守っていきこうとする気持ちを高めるために行いました。『自分たちさえよければいい』とか、『みんなだって守っていないじゃん。』といった考えから一歩進み、『みんなの幸せ』を考えられる人間に成長してください。



D組 主題名「わたしを大切にすること・ひとを大切にすること」

ねらい：

自分のことは、よく知っているようで実はよくわからない。ましてや、「良いところは？」と聞かれると、思い浮かばなかったり、自信がなかったり。自分って何だろう？周りにはどう思われているんだろう？そんな不安をうまくコントロールできず、「自分はダメだ」と落ち込んだり、人に八つ当たりしてしまったり。そういう経験がある生徒は少なくないと思います。集団生活をおくる上で、お互いが安心して気持ちよく過ごすためには、自分のことも周りのことも、大切に思える気持ちが必要で。進級を前に、いつもと違う方向から自分を見つめ、考える時間になればと思い、今回の題材をえらびました。



(生徒の感想)

今日、自分を知ることができたかな？と思います。もっと我慢強くなりたいです。少しくらい嫌なことがあっても、笑顔でいたいです。

(高橋明里さん)

自分のいいところを見つけるのは大変だった。でも、友達が自分のいいところを見つけてくれたから、うれしかった。

(深見あんさん)

F組 主題名

「ひとりずもう さくらももこ」

ねらい：

日本国民中が知っている「ちびまる子ちゃん」。作者は**さくら ももこ**（本名（旧姓）：三浦美紀さん）であり、自身の少女時代をモデルとした代表作である。そのさくら・ももこさんの中学生からエッセイ漫画家になるまでの生い立ちに「ひとりずもう」を通して触れた。漫画家になることを家族から反対されながらも自作漫画を雑誌に投稿し、入賞できずにいたが短大推薦の作文がエッセイ漫画家への道を開く鍵となった。

今、具体的な将来の夢がなくても「やってみたい。」という気持ちを大切に行動し、実現できるチャンスをつかみながら今後の進路へと歩んでいってほしい。

（生徒の感想）：

将来の夢に向かってがんばってくじけそうになっても、あきらめなかったももこさんを見習いたいと思いました。

（松原詩樹さん）

夢はあきらめたらいけないと思った。小さなきっかけでも大きなきっかけへと変えられると思いました。

（齋藤汰貴さん）



B組 主題名『思いやり』を考える

ねらい：

ということが『思いやり』なのか考えてほしくて、この授業を行いました。困っている人を助けるとか悪口を言わないなど、分かりやすいこと以外にも、電車に乗ってきた人にみんなが少しずつ席をつめたり、謝られたら「いいよ。」だけでなく、「自分もうっかりしていた。」と言ったり、日々の生活の中でも「相手を思って」行動できることはたくさんあります。少しの気遣いが、日々みんなが安心して生活できる場をつくっていくのではないかと思います。

（生徒の感想）

今日の道徳の授業を終えて、人を思い合う気持ちは、人と人を結ぶという働きがあると分かりました。これからは人を思う心を身につけたい。

（柳沢佑さん）

ただ優しい人だけではダメなことが分かりました。人のためにみんなが気持ちよく過ごせるように、私も何かやりたいと思いました。

（川島麻央さん）



H組 主題名「終わりから始まる物語」

ねらい：

一年の締めくくりとして『チームの輪』を感じさせるようなエンカウンターを取り入れました。ある物語のラストシーンから始まる物語を同じ班の仲間と協力して創り上げます。それぞれの班に個性があり、違うストーリーが生まれます。実践を通して“協力することの大切さ”を学べるのではないかと考えました。

（生徒の感想）

1つの場面を決めるとその後どうするのが、いろいろ浮かび上がってきました。そして、その中から決めることに苦戦しました。次の場面を作るのが楽しかったです。

（佐藤みのりさん）

ミッション4で書いたように、それぞれの班でいろいろな話があり、おもしろかったです。班でいろいろな想像があって、たくさんのパターンができるんだと思いました。

（長谷川千紗さん）



G組 主題名「一杯のワイン」

ねらい：

『一杯のワイン』というお話を通して、「自分一人くらい…」という気持ちについて考えました。何人もの「自分一人くらい」という気持ちが合わさると大きなことにつながるということに気づき、自分の行動を見つめ直してほしいと思い授業を行いました。「自分一人くらい」ではなく、「自分一人でも」という気持ちをもてる人になってほしいと思います。

（生徒の感想）

自分一人くらいという気持ちが周りの人に迷惑をかけていた。自分一人くらいが重なって大きなことにならないように、自分はそれをやらない。そうすれば自然と周りもそうになっていくと思う。

（水野絢太さん）

「自分一人ぐらい」って思っていると自分以外のみんなだっけそう思っているかもしれない。だから、みんな思っている自分一人は変えた方がいいんじゃないかと思いました。

（田中翔也さん）

